

じそんのかね

自尊の鐘



蕪崎西中学校 学校だより

2021.1.12 NO18

発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いつくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。



成長の芽を出す年にー3学期の開始にあたって



新年を迎え、今日から3学期が始まりました。コロナウィルス感染拡大の中で世の中や生活が大きく変わり、新しい始まりの年となった「子年」が終わり、我慢の中で新たな成長の芽が出てくる「丑年」になりました。首都圏には「緊急事態宣言」が出され、山梨県でも感染者が過去最高を更新する日々が続いています。いつかコロナが終わり、かつてのような「コロナ前」の状態には戻っていろいろなことができるようになる、そんな期待はしばんで、改めて「With コロナ」のなかで進んでいくしかない状況突きつけられているような気がしています。同時に、生徒も含めて私たち大人が感染症対策への意識と行動をどれだけ持続させていけるのか、「コロナ疲れ」に打ち克つ底力が試されているような気がします。

それでも今日から3学期、校舎は生徒たちの声で包まれ、学校らしく活気が戻ってきました。これからどんな状況になろうとも、牛のように動じず、前を向いてゆっくと一歩一歩進んでいこうとみんなで決意を新たにしているところです。本日配布した市教委からの「新学期に向けての学校の感染症対策について」の文書もご覧いただき、ご家庭でも気持ちも新たに感染症対策に取り組み、ご協力ください。

3年生はいよいよ入試シーズンに突入し、卒業までのカウントダウンも始まりました。始業式では「勝利は自分の力でつかみ取るもの」という話もしましたが、入試が人生初めての試練であることは確かです。ともに過ごしてきた仲間とともに、西中生としての誇りを持って団体戦で勝利をつかみ取ってほしいと思います。

3年生のスローガンは、**努緑夢現** (学年ホールに掲示) 緑学年のみんなの努力で夢を実現してください。

「消しゴムが丸くなるほど苦勞して きっと優しくなっていくのだ」

(萩原慎一郎 歌集「滑走路」より)

1, 2年生は、4月からの新年度の準備をする期間、伝統を日受け継ぎ、どんな最上級生となるのか、どんな先輩となるのか考え行動してほしい。そして「やまない雨はなく、明けない夜はない」という言葉があるように、今はじっくりと力をためるときです。成長の春に向けてたくさんの芽を出す3学期にしてほしいと思います。



☆2分前タイム厳守
☆3学期、最初で最後の力試し!
☆練習は本番のように、
本番は練習のように



1/8 3年生は1日早く登校、学力テストを受けました